

道徳授業地区公開講座 授業のポイント

令和3年 12月11日 土曜日 第5学年1組 授業者 武田 理史

今日のテーマ「希望と勇気、努力と強い意志」
使う教材「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

育てたい心

「本当の自由」とはどのようなものかを考え、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的で責任のある行動を取ろうとする実践意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



森の番人ガリューは、日の出前には森で狩りをしてはならないというきまりを破った者を取り締まるのが仕事です。銃声が聞こえ、向かってみると、そこにはこの国の王子、ジェラルがいました。誰であろうときまりを破ることは許せないとガリューは主張しますが、王子に「したいことを、したいようにできる自由な暮らしをみんな望んでいる」と反論されます。そして、ガリューは、捕らえられてろう屋に入れられます。

王様が亡くなり、ジェラルが王位を継ぐと、わがままはいっそうひどくなり、世の中は乱れていきました。そのうちに、ジェラルは裏切りに遭い、ろう屋に入れられます。そこでジェラルはガリューに再会し、「あのとき、わがままな心を正していたら、国も乱れることはなかった」と後悔の言葉を述べます。ろう屋から出ることになったガリューは、ジェラルに「本当の自由を大切にしましょう。」と語りかけました。

授業の流れ

自分が考える「自由」についてのイメージを出し合う。

- 1 ガリューに注意された時、ジェラル王子はどんなことを考えたでしょう。
- 2 涙を流しながら、ジェラルはどんなことを考えたでしょう。
- 3 ガリューが立ち去った後、ジェラルは「本当の自由」について、どう考えたでしょう。

自己を振り返る。

「本当の自由」とはどんなものだろう。

ご家庭で

自分らしさを生かし、自由に行動することと、自分勝手に振る舞うことの違いについて、例えばどういうことなのか、ご家庭でも話し合ってみてくださるとよいと思います。真に自由な生き方とはどういうことか、自覚をもって行動することの意味について、ご自身の経験などからもお話ししていただけるとありがたいです。